

# ゆう和

Air-Conditioning & Plumbing Contractors Association of Hyogo

2008  
新春号  
WINTER  
No.014

ゆう和・新春号 2008 WINTER No.014

## 特集1 新春対談

兵庫県知事 井戸 敏三・兵庫県空調衛生工業協会 会長 神田 武

## 特集2 ゆう和レポート①

兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター

## 特集3 ゆう和レポート②

兵庫県立粒子線医療センター



私たちは、兵庫県と防災協定を結んでいます。  
ライフラインを守り、災害時の復旧に尽します。



社団法人 兵庫県空調衛生工業協会

tel.078-341-0991 fax.078-341-0874  
<http://www.hyogo-kuei.or.jp>

発行/社団法人 兵庫県空調衛生工業協会



(社)兵庫県空調衛生工業協会  
会長 神田 武

## 2008年(平成20年)の

### 新春をお慶び申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。2008年(平成20年)、十二支の最初の子年を迎えました。新たな出発点として協会にとつても、会員各位におかれましても明るい未来につながる年となりますよう願っております。

昨年は、(社)日本空調衛生工事業協会全国会議が「空調衛生工事業の独自性の確立」をメインテーマに、京都市で開催され、全国から多くの関係者が京都に集まりました。

「建設産業政策2007をふまえた空調衛生工事業のあり方」をテーマにしたパネルディスカッションでは、専門工事業としての概念について活発な意見交換が行われました。これからは、建物の快適環境を維持しながらCO2削減という社会的責任を果たすことが、設備を担う専門工事業の使命となるでしょう。設備のプロとして、建物オーナー、管理者、ユーザーと直接向き合い、設備の企画、設計、施工、監理を行い、さらに各段階での検証を行うことが大きな意義をもつと考えられます。今以上に研究開発や地球環境問題対応に適した新しい空調衛生システムの構築に向けた取り組みが必要と感ずるところです。

建設産業政策2007においても、益々の公共工事の減少に伴う経営環境の厳しさが増す中で、協会活動としては経済社会、地域コミュニティ等社会貢献をめざし、技術と経営による競争を促進するための、入札契約制度の改革に対応できる公正な競争基盤の確立、透明性の高い取り組みができる優れた企業が成長できる環境整備、魅力ある産業をめざす、その具体的な実践の年を迎えております。そのような中で、今年G8サミットの環境大臣会合も兵庫県で開催されます。空調衛生を中心に環境問題の改善に取り組む新しい役割がビジネスとして生まれてくるのではないかと思います。

各地域での地方自治体の公共事業も引き続き減少している厳しい情勢を、会員一同乗り切っていきたいと思っております。頑張りました。

最後に、今年一年が皆様にとりましてよい年となり、業界の発展する年となりますよう祈念いたしましてご挨拶いたします。



新春号／表紙  
兵庫県立西播磨  
総合リハビリテーションセンター  
正面入口

## CONTENTS

YUWA 2008 WINTER NO.014

### 会長挨拶

(社)兵庫県空調衛生工業協会 会長 神田 武 1

### 新年のご挨拶

3

### 新年交礼会

5

### ひょうご NEW FACE

7

### 兵庫県立考古博物館

9

#### 特集

### ゆう和レポート①

兵庫県立西播磨 総合リハビリテーションセンター 9

#### 特集

### 新春対談

兵庫県知事 井戸敏三・会長 神田 武 11

#### 特集

### ゆう和レポート②

兵庫県立粒子線医療センター 13

### 平成19年度安全衛生大会

15

### 県庁だより①

兵庫県森林動物研究センター 17

### 県庁だより②

兵庫県の入札に 参加される皆様へ 18

### 平成19年度技術研修会

19

### 空衛問答

20

### お知らせ

平成19年親睦ゴルフ大会 21

### in 播州東洋ゴルフクラブ

平成19年親睦ゴルフ大会 22

# 新年のご挨拶

## 元気で安全・安心な兵庫をめざして



兵庫県知事

### 井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。平成20年の節目の年が明けました。この20年間、わが国は、豊かさとは何かを問い続け、成長から成熟への構造転換を模索してきたと言えるでしょう。

その歩みの中、兵庫は、大震災からの創造的復興をめざし、懸命に努力してきました。コミュニティ重視の地域活動や共助で築く安全安心の地域づくり。

成長産業やものづくり産業が牽引する兵庫産業の再生。

自然の偉大さを学び共生をめざす環境優先の社会づくり。

地域個性や資源が光る交流の高まり。いずれも成熟社会の針路を示すものです。これからは、復興の過程で芽生えたこれらの取り組みを礎として、新しい兵庫づくり、兵庫の再生に向けてスタートを切りま

す。

そのためには、復旧復興を担ってきた財政状況を改革し、持続可能な構造にしていきたいと思います。成熟社会の主役は、県民の皆さんです。一人ひとりの主体的な活動が、新しい兵庫をつくりまします。

今春、日本最大のお菓子の祭典「姫路菓子博 2008」が開かれます。環境大臣会合も開催され、国内外から多くの人々が訪れます。今こそ、兵庫らしさに磨きをかけ、内外に発信するときです。

参画と協働を基本姿勢に、人、産業、地域、社会の元気づくり、県民生活の質の向上、交流人口の拡大、家庭と地域の再構築の4つの視点で、「元気で安全・安心な兵庫」をめざしましょう。

このとり 翔る大空 夢のせて  
再生兵庫へ ともに歩ま

## 平成20年 新年のご挨拶



兵庫県まちづくり復興担当部長

### 田村 計

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素は、兵庫県政、とりわけ建築行政の推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年は、新行財政構造改革を推進する中で、安全安心のまちづくりや既存ストックの有効活用を進め、阪神・淡路大震災や新潟県中越地震の教訓から宅地耐震化推進事業に取り組みとともに、県立都市公園における運動施設などの利活用推進、阪神間の文化を象徴する優れた建造物の保存など、兵庫の将来を見据えた魅力あふれるまちづくりに取り組んでまいります。

また、震災から13年が経過する中で、震災の教訓の再整理・発信など復興フォローアップの推進を図り、引き続き、住宅

再建共済制度への加入促進にも努めてまいります。今後とも、「元氣」「安全・安心」「信頼」の兵庫の実現に向けた諸施設の推進にご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとつて充実した素晴らしい年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



参議院議員

### 末松 信介

新年明けましておめでとうございます。

兵庫県空調衛生工業協会関係者の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

早いもので、参議院議員としてこの夏5年目を迎えます。

昨年は我が自民党にとりまして激動の一年でありましたが、私自身は8月28日から自民党国会対策副委員長を拝命し、「衆参ねじれ国会」の状況下での参議院国会運営の中心となる舞台で、やり甲斐のある、忙しい日々を送っております。

現在、予算委員会委員、総務委員会理事、自民党国土交通・総務部会副部長等を務めております。本会議、委員会、外での会議を除いて、ほとんど終日国会対策委員会室に詰めております。「ピンチはチャンス」という気持ちで全力投球する覚悟です。

地元には毎週末帰ります度に、日々国会への行き帰りに目にする東京の都心部の股賑ふりと比べますと、相変わらず、実際に肌で感じる経済の活況振りには大きな差があることを実感します。こうした中、兵庫県財政の危機的な状況が詳らかになつて参りました。行革の断行が急務になる以上、県の事業にも多大な影響が出ることは必至であります。こうした中でも活力ある兵庫、関西を取り戻さなければなりません。地域格差が語られる今日、関西の復権なくして健全な日本の姿はありえないという認識で取り組んで参ります。

また、皆様からは「改正建築基準法の施工以来、建築確認の厳格化により、建築着工の大幅な遅れと着工件数の大幅な減少が発生、それに伴い資金繰りの悪化など経営上の問題に発展してきているところもある」という指摘を頂くなど様々な問題を伺っております。

本年も国政での活動を通じて関係省庁との連携を層深め、山積する諸課題の解決に向けて真摯に取り組んで参る所存です。どうか、倍旧のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

ご関係者皆様の益々のご発展とご健勝をご多幸をお祈り申し上げます、念頭の挨拶と致します。



兵庫県議会議員

### 立石 幸雄

明けましておめでとうございます。

旧年中は統 地方選挙をはじめ皆様の二方ならぬご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。

本年は子の年で私は年男に当ります。

思い起こせばこの60年間多くの出来事があり、多くの人との出会いがありました。多くの方に支えられここまで来ることが出来たのは、私の好きな言葉「邂逅」(かいこう)の通り、人と人の繋がり何よりも大きかったと思っております。

「子」の文字は「ふえる」の意味で、種子の中に新しい生命が芽生える事を表しているようですが、あらゆる面で新しい芽が生まれることを願っております。

昨年の国政は安倍政権から福田政権へ代わり、国会の運営が少しずつ変化しておりますが、ねじれ国会であることに変わりはありません。いずれにしても真に国民の為になる政治を与野党とも目指してもらいたいものです。一方現在の兵庫県政はまだまだ震災の影響を大きく受け、全国ワースト2の状況は変わらず、このままでは後世に大きく禍根を残すことになりかねません。今こそ中長期を見つめ、明るい未来あるひょうごづくりを目指し、議会、行政をはじめ企業や団体、県民の皆様にもご理解、ご協力をいただくかなければならない根本的な改革が必要だと強く考えているところでございます。

今後共皆様の「層」のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げますと共に、本年のご健勝、ご多幸を祈念致しまして新年の挨拶といたします。



兵庫県議会議員

### 羽田野 求

新年あけましておめでとうございます。

平素は私も兵庫県議会に格段のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。

全国ワースト2位、県財政の危機。それに伴う厳しい行革案。今後11年間で1兆1千億円の収支不足の見通しが突然発表され、毎年1千億円以上赤字になる県財政。何をどう削るか、削るものは人件費、事務事業、投資事業、の3つしかありません。行革第1次案は3分の1ずつ負担したと言いますが、何のための県行政か。県民生活を守るのが県政の仕事であります。その為には、我々議員がまず報酬の削減、身を切ることは当然であります。さらに全国第6位の給与水準のカットと人員削減で人件費の1割削減を行えば赤字の6割の600億円を捻出し、県民生活への影響を少なくすることが可能であります。また投資事業は段階的な削減で地域経済に配慮が重要であります。

戦後最長の景気回復と言われてきましたが、地域格差、内需型産業、特に中小企業には景気回復が及ばないまま、日本経済が下ぶれしてきた感がします。サブプライムローン、原油の高騰、改正建築基準法による新築住宅の着工の遅れなど、建設や運輸業界を直撃しており、建築関連業種は信用保証協会によるセーフティネット保証の対象業種に追加されました。決算委員会で私も既往債務の返済条件の緩和など資金繰りの支援を相談窓口で十分行うよう強く要望しました。

いずれにしても、県民の皆様には痛みを伴う県行政改革となりますが、県民生活への影響を出来るだけ小さくし、次の新たな飛躍、元氣ひょうごを創るために全力で働いて参ります。

貴協会がますますのご発展とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 平成20年 新年交礼会

日時：平成20年1月15日(火)  
場所：ホテルオークラ神戸1階 平安の間  
参加者：283名



井戸 敏三 兵庫県知事 / 末松 信介 参議院議員 / 立石 幸雄 兵庫県議員 / 羽田野 求 兵庫県議員 / 五百蔵 俊彦 兵庫県副知事 / 池田 茂 兵庫県理事 / 高田 弘志 兵庫県土整備部住宅建築局設備課長 / 森本 薫 兵庫県立姫路高等技術専門学院長 / 安田 治行 兵庫県企業庁地域整備局長 / 岩佐 秀人 神戸市都市計画総局参事 / 沖 正彦 神戸市都市計画総局建築技術部設備課長 / 春木 雄一 (社)大阪空調衛生工業協会副会長

## 挨拶



(社)兵庫県空調衛生工業協会  
会長 神田 武

皆さん、新年明けましておめでとうございます。平成20年新年交礼会を開催いたしましたところ、兵庫県知事井戸敏三様をはじめ、多数御出席をいただき、本当にありがとうございます。

昨今、日本の景気は順調に回復している、いろいろな場所で聞きます。今順調な企業は、外国で利益を上げていますが、これから本当に日本が順調に回復するには、内需の拡大が必須だと思います。その内需の拡大の最先端を行くのが、我々建設産業ではないでしょうか。とくに地方で役割をもっています。また、今日は、建物の快適環境を維持しながら、CO2の削減という大きな社会的責任を負っているということをご皆さんに感じていただきたいと思っています。我々設備業だけでは、技術的に難しい問題もございますが、幸いなことに、当協会には、メーカーや代理店の賛助会

員がいらつしゃいます。これからは、メーカー、代理店と一体となり、CO2削減に取り組みながら、設備事業の独自性をしっかり打ち立てていきたいと思っています。

これからの大きな課題として、公共工事の益々の削減が挙げられます。非常に厳しいこの状況を乗り越えるにはどうすればいいのでしょうか。現在、技術と経営による競争を促進する入札制度の改革が盛んに行われていますが、これに対応できる成長企業としてやっつけかねばならないと思います。協会といたしましても、援助を行いたいと考えています。もう一つは社会貢献への取り組みです。一人や社でやることには限度がありますので、協会活動を通じて社会貢献を行ってまいります。それを、行政にもう少し高く評価していただければ、我々も励みになります。行政の皆様の御理解をお願いいたします。

これからの一年、私は、楽しく、無理せず、楽をせずの精神で協会運営に頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。最後になりましたが、皆様にとつて素晴らしい一年になりますとともに、業界が益々発展することを祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

でがんばっていただきたい。

最後になりましたが、今年60年に1度の戌の子、すなわち繁栄の年です。業界が大いに繁栄されることを祈りしながら、御挨拶とさせていただきます。

## 祝辞



兵庫県議員  
羽田野 求氏

改めまして、新年おめでとうございます。神戸一通行料金の高い新神戸トンネルが、今年いよいよ阪神高速へ移管します。これも、実は道路特定財源を使って買い取るわけです。国会・県会でも、20年度予算審議が始まります。まず、予算を通すことが景気を拡大させていくと思っております。この大きなハードルをまずクリアしていかねばならないと思います。

また、10年前のGDPと現代のGDPがほぼ変わっていません。給与所得はむしろ落ちているぐらいです。会長のお話にもありました内需拡大を図るためにも、GDPや給与所得をまず上げていく施策に取り組んでまいります。

今年も、前途多難ではございますが、皆様、新しい希望にチャレンジをしていただくことが大切ではないかと思っております。兵庫県空調衛生協会の皆様方の益々のご発展を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

前年比9割を確保するようにしたいと考えています。最低制限価格などにつきましても、実態に応じた適切な見直しをするべく検討中です。ただ、県には、先頭を走るだけの余力はないかもしれません。2番目ぐらいを走らせていただけて、民間の皆様先に先頭を走っていただけるよう、努力をいたしたいと思っております。

私は、年の初めに歌を詠ませていただきました。その歌を御披露させていただきました。お祝いとさせていただきます。「こうのとりの翔る大空 夢のせて 再生兵庫へ」とともに歩まん。おめでとうございました。

皆さん、新年明けましておめでとうございます。大田経済財政担当相は、今年度の経済成長は名目2.0%の上昇としていただきましたが、1.3%と大幅に下降修正しました。改正建築基準法の施行によつてこれだけ大きなダメージを受けると予測できていなかったわけでございます。ビルや事務所の新築が落ちてしまった。実際、0.7%経済成長を落としてしまったわけで、感じ、今年度は回復できるようにしっかりとやらせていただきたいと思います。税調では、

## 祝辞



参議院議員  
末松 信介氏

皆さん、新年明けましておめでとうございます。17日で震災から13年がたちますが、兵庫県の財政もいささか疲れてまいりました。これを立て直していかねばなりません。

投資水準を見ますと、震災復旧・復興でかなり上げて、平均的な時に比べると5割増ぐらいで頑張ってきたわけですが、近いうちに元の水準まで戻さねばなりません。ただ、急に戻すと、地方経済に影響を与えますので、なだらかに戻したいと思っております。併せて、県内事業者が受注できる機会を増やすため、条件付競争入札の条件を工夫する必要があると思っております。また、2000万円以下の小規模事業は、

新しい施策として、省エネ改修促進住宅などが創設されました。空調衛生設備業界の皆様が活躍する舞台は広がります。

とにかく2000年住宅を提唱していらつしゃいます。リフォームがきつと評価できると強い要望を受けてまいりました。この建築行政を考えてまいります。

不安定な政治情勢が続きます。皆様からいろいろ御意見・御支持を頂戴したいと思っております。業界の発展がなければならぬと思っております。皆様方の御健勝と、業界の発展をお祈りいたしまして、御挨拶とさせていただきます。

## 祝辞



兵庫県議員  
立石 幸雄氏

皆様、新年明けましておめでとうございます。今、県では、県単事業31.1%削減となつておりますが、何とか1000億円

ぐらゐの事業費を確保するように最終の詰めをさせていただいております。これから、地域間格差の問題も出てまいります。地域に不公平感の出ないよう計らい、格差の是正を図れるようにというところで再配分も同時に求めていきたいと思っております。これから、本音が厳しい時代だと思っておりますが、業界の皆様が一致協力の中

# 昨年10月13日、播磨町大中にオープンした 古代の人々の暮らしや技術に出合える “体験型ミュージアム”。

発掘現場がそのまま再現され、土の中から模型の遺物を探す。疑似発掘体験“ができるほか、飛鳥時代の女官や古墳時代の武人の装束を身につけたり、実物大の古代船に乗ったり、大王の石棺に入ってみたり…。石器づくりや勾玉づくり、火起こしなどの講座も開講されています。数千年前の人々がグリーンと身近に感じられる博物館で、ふれて、試して、感じて、考え、ナゾ多き古代史のロマンを体感してみませんか？



## 【展示室】

### ■エントランス展示

ときのギャラリー  
ズラリ整列、来館者を出迎えるのは、数千年の昔から土の中で眠っていた土器たち。縄文時代から江戸時代に至る3500年の時の流れを、土器の形や文様の変化から感じ取ることができます。

### ■体験展示 発掘広場

本物の住居跡をまるごと運んで再現した発掘現場。足もとに埋まった遺跡を掘り起こし、遺物を探すのは、まるで宝探し気分。どんな遺物が現れるか、ついつい夢中になってしまいます。みつけた遺物からの歴史のナゾ解きも楽しみの一つです。

### ■テーマ展示

原寸大の古代ロマンを体感  
人・環境・社会・交流の4つのテーマで、ひょうごの歴史を解き明



かすコーナー。県内の遺跡から出土した考古資料と、最新の研究に基づいた実物大模型や映像が、時空を超えた歴史探求の旅へといざなってくれます。

### ＜テーマ1＞「人」私たちの由来

昔の“ひょうご”には、どんな人たちが暮らしていたのでしょうか。今なおナゾにつつまれた「明石原人」をはじめ、県内各地の遺跡で見つかった人骨から、古代の人の姿を復元。自分と見比べながら、先祖たちはどこから来たのか、その由来に想いを馳せてみましょう。

### ＜テーマ2＞「環境」

自然とともに生きる

ノウマゾウなどの獲物を追った旧石器人、森や海の幸を求めた縄文人、大地を耕し作物を育てた弥生人…。その恵みに育まれ、時には脅威にさらされながら自然とともに生きてきた人々の暮らしが再現されています。自然環境と古代人の関係は、現代の私たちに大切なメッセージを送ってくれます。

### ＜テーマ3＞「社会」国の成り立ち

争いを繰り返しながら、ともに暮らすためのルールを定め、国をつくり上げてきた遠い道のりを、武器や武具、王の墓、古代の役所などを通じて感じてみましょう。

### ＜テーマ4＞「交流」みちであい

“ひょうご”は古くから海陸の

交通の要衝で、多くの人が行き交い、出会いが生まれ、新しい文化がもたらされました。大陸と但馬を行き来した古代船、大王のために運ばれた石棺を実物大で復元。見て、ふれて、体験して、ひょうごを舞台にした人と物の交流を体感しましょう。



## ■バックヤード見学デッキ

復元作業を自分の目で  
遺物整理室の上部はガラス張りになっていて、一般的には、来館者が目にするのことができない、出土品の復元作業などを見学することが出来ます。立体パズルを組み立てるように、土器の破片を慎重につなぎ合わせるスタッフたち。呼び覚まされた数千年前の姿が、古代の真実を解き明かす資料となります。

## 【催し・講座】

1/26～3/9	開館記念展「“おかえり”故郷へ—発掘された兵庫の遺宝—	3/1(土)	講演会「加西市玉丘古墳群の整備と亀山古墳の調査」
2/10(日)	体験「本格石包丁づくり」定員20名、材料費500円※	3/2(日)	体験「木枠を使った織物づくり」
2/16(土)	講演会「兵庫の装飾付須恵器」	3/29(土)	イベント「ひょうごコースセミナー」

※申し込みは ☎079-437-5564 (学習支援課) まで

## DATA

- 開館時間 9:30～17:00(10～3月)、9:30～18:00(4～9月)
- 休館日 月曜日(休日の場合は翌日、4月第3週～5月第2週・夏休み期間は無休)、12月31日・1月1日
- 観覧料 大人200円、高大生150円、小中生・県内居住65歳以上100円(常設展示)
- アクセス JR土山駅下車徒歩15分、山陽電鉄播磨町駅下車徒歩25分  
第二神明・加古川バイパス明石西ICから約3km
- 駐車場 播磨町大遺跡公園駐車場 9:00～21:00 1回200円  
播磨町野添であい公園駐車場 9:00～21:00 1回200円
- TEL 079-437-5589

